

水野寿夫家文書目録と目録作成について

平成25年5月21日に水野寿夫氏が持参され、ご寄贈いただいた史料10点である。

水野氏は祖父壽作のときから山丸組の金丸製糸工場に勤め、重役（総支配人）を務めた。全国各県に支所や取次所をもうけ、繭買いの充実を図った。61歳で没した。当時は高額所得者であったから太子堂のお祭りなど、寄付者名簿の上位に名を連ねている。

息子（父）袈裟雄も祖父の後を継ぎ金丸製糸工場に勤めた。町報の昭和4年8月1日号に、町の町税特別税の記事があり、100円以上納税者106人の中に名を連ねている。

史料の年次が不連続であるのが惜しいが、明治時代後期の金丸製糸工場の経営状況の一端が分析できる貴重な資料である。

これらの史料を「水野寿夫家文書目録」として、目録を作成した。『須坂市域の史料目録』の連番整理番号「064」（64番目）に位置づけ、整理ラベルを貼付した。

本史料目録は、水野家のご理解とご協力を得て、須坂市誌編さん室の青木主任専門員が作成した。

2015年5月27日

須坂市誌編さん室